

役場庁舎の会議室で、笑顔を見せる奏音さん。



# 姉妹で目指した全国大会での活躍 ウエイトリフティングは一番の青春



こいしかわ かのん  
**小石川 奏音**さん (18歳)  
三ヶ尻瘤木在住

県立岩谷堂高等学校3年。ウエイトリフティングを高校から始め、インターハイ・全国女子選手権大会の代替として行われた全国高校通信記録会で4位入賞。趣味は音楽鑑賞。現在は父、母、妹の4人暮らし。

「ウエイトリフティングは、努力した分だけ記録に現れて達成感がある」と魅力を話す奏音さん。全国高等学校ウエイトリフティング競技通信記録会女子71kg級で、全国4位入賞を果たした。奏音さんがウエイトリフティングを始めたきっかけは、まさにウエイトリフティングを始めていた4歳年上の兄の試合を応援しに行ったとき。高校生の大会で100kgのバーベルを持ち上げた女性の姿を見て、自分もなりたいたい憧れを抱いたという。

高校入学後は、全国大会で活躍する夢を抱き、ウエイトリフティング部に入部。負けず嫌いの奏音さんは同級生ライバルの存在もあり、厳しい練習に打ち込んだ。怪我にも悩まされたが、毎日部活の時間が楽しかったという。

1年後には、妹の琳音さんも入部。「姉妹と一緒に全国大会で活躍する」という姉妹2人の夢へと突き進んだ。

迎えた高校最後の春。新型コロナウイルスの影響で全国大会が中止となり、姉妹そろって全国大会に出場して活躍する夢は叶わなかった。しかし、代替として行われた全国通信記録大会では自己最高の4位入賞。奏音さんは、琳音さんに夢を託し、妹の活躍を願う。

高校卒業後は介護施設で働く奏音さん。超高齢社会において地域に貢献していく決意とともに、中学生から続けている三ヶ尻鹿踊りにも継続して取り組み、地元行事などにも参加していきたいと話してくれた。

## 広報日記



今月は消防団特集。柴田さんにはインタビュ後、その後の火防点検にも同行させていただきました。若い人でも、どこにどんな人(高齢者)が住んでいるか分かる、消防団と地域の人たちとの信頼関係に驚くとともに、いざという時には、そうした周りのご近所同士のつながりが命を助けるのだと思いました。(村口)

## お詫びと訂正

広報かねがさき2月号に誤りがありましたので、お詫びして次のとおり訂正します。

■訂正① 2頁広報「第700号」の発行日  
**正 2012年10月** 誤 2014年10月

■訂正② 8頁「まちの話題」、及川みどりさんの行政区

**正 下永沢第二** 誤 上永沢第二

人口と世帯		2月28日現在
		※( )内は前月比
人口	15,508人	(- 57)
男	7,931人	(- 43)
女	7,577人	(- 14)
世帯数	6,148世帯	(- 46)

